

# 地元の小学生が熊野川の対策工事現場を見学しました ～ 対策現場を活用し防災学習を支援！ ～

～ 紀伊山系砂防事務所 ～

田辺市立鮎川小学校の5年生が、防災学習の一環で熊野川の深層崩壊箇所を見学。完成した砂防堰堤の機能や、現在行っている工事の状況について熱心に勉強していました。紀伊山系砂防事務所では、今後もこのような現場を活用した防災教育を支援する取り組みについて積極的に進めて参ります。

熊野川では平成23年の発災当時、幅440m、高さ250m、長さ480mの崩壊が発生し約526万m<sup>3</sup>にのぼる崩壊土砂が河道を閉塞しました。現在は湛水池の埋め戻しが完了し、崩壊地内の不安定土砂の下流への流出を防止するための工事を実施しています。

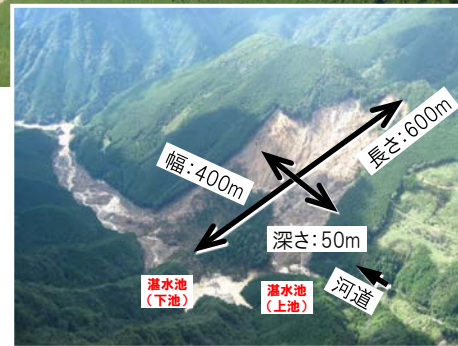
実施場所位置図



被災当時の状況



対策工事現場の見学後に防災学習を実施



開催日：平成30年3月8日（土）13時～15時

場 所：熊野川床固工群（和歌山県田辺市）

参加者：田辺市立鮎川小学校5年生 16名

## 参加者からはこんな感想が…

- 崩壊した斜面の規模が、想像よりもすごくておどろいた。
- 砂防堰堤のはたらきや対策工事の状況を勉強できた。

## 【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
紀伊山系砂防事務所 工務課



〒637-0002 奈良県五條市三在町1681  
TEL 0747-25-3111（代）